

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 橋本正巳
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編 集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

韓国・昌元山岳会と姉妹山岳会締結25周年

記念訪韓 2006.11月11日～13日
 親睦登山 道峰山(トボンサン)740m

隊長 山田 智子(越後山岳会)

1981年5月の姉妹山岳会締結後、婦人部の行事として、1983年6月第一回の親睦登山をおこなった雪岳山(ソラクサン)から、このたびの道峰山(トボンサン)が第7回になりました。第6回が1989年の漢拏山(ハンラサン)だったので、17年の間に二回お会いする機会がありました。親睦登山は17年ぶりのことになりました。

金昌変会長からは、時々電話を頂いているので、久しぶりという感じはなく、仁川国際空港で何時もの流暢な日本語で出迎えを受けました。今回は事前の打ち合わせが二転三転したため、真ん中の日曜日に登山ということ以外、到着後の行動は不透明でした。ホテルへ移動の車中で、個人的に度々訪韓している佐藤副隊長に、金会長より予定が話されたのですが、夜の予定が変更になっており、韓国に来ただからおまかせで行きま

しょう、ということになる。ホテルは行動するのに利便性が良いところを条件に予約したソウル市役所や南大門(ナンデームン)市場の近くでした。昌元山岳会の皆様とは、金瀧夫前々会長よりご招待の夕食会に行く時、何台もの車で迎えに来て下さったので、ホテルで懐かしい再会となりました。

谷川岳、白馬岳に登った若い金さん、穂高岳の柳さん、佐藤さんの息子さんの結婚式に出席された尹さん、笑顔と握手、オレガンナムダ(お久しぶりです)で、17年はずっとこの間に埋まりました。金瀧夫氏の住居は、以前の一戸建ての大邸宅から高級マンションへ転居されていました。二部屋分もありそうな広くて素敵な住まいでした。女性陣は奥様の立派な螺鈿細工の調度品に歓声を上げていました。ゲストハウスで焼肉、キムチなどをご馳走になりましたが、奥様と長男のお嫁さんがチマチョゴリの装いで、これまでと同様にこの夕食会も、家族全員でお持て成しをして下さり、私達を感激させてくれました。

金瀧夫氏は韓国シニア隊エヴェレスト遠征の最終隊員にノミネートされていて、13日から選考を兼ねた合宿に参加の為、この日の夜の夕食会になったとのことでした。最初にお会いした時から体型が変わらないというスマートさです。歓談は通訳の崔さんが一生懸命私達との間をつないでくれました。一社長が、私も日本語を覚えられないが、山田さんも韓国語が覚えられませんね、と言っています」と崔さん。大笑いでしたが韓国語は本当に難しい。金社長は日本語学校も経営していた筈なのに、何時も通訳同伴でその必要がないのだろう。私は金昌変会長に全面的に頼っているのだ。

登山日の朝、又何台もの車で迎えに来て下さり、地

下鉄利用の予定が往復送迎という有り難さであった。着いてから感謝、感謝の連続で、カムサハムニダとコマスマダを連発していた。高層ビルディングが建ち並ぶソウルから、岩山が見え隠れしていたが、真つすぐ向って行く感じで近づいて行く。青空に映えて素晴らしい姿を見せていた。駐車場を出発してすぐ、昨夜ご招待して下さった金社長が下山して来られた。毎朝トレーニングに登っているとのこと。すごい！ひと登りしたところで集合写真を撮ると



昌元山岳会姉妹締結25周年記念訪韓参加者

帰っていかれたが、エヴェレスト隊の選考がうまくいくようにと祈った。

道峰山には30名位で登る。

岩山を満喫したが、老若男女の人、人、人、には度肝を抜かれた。東京の銀座か新宿か、秋の上高地の河童橋の人並みがそっくりそのまま登っているような賑わいで、追越しどころかはぐれないように続く。まあすごい登山者であった。又、登山に必要なものが全部揃えられるほどの店舗が並んでいた事にも驚かされた。

下山後、金昌変会長のお店へご招待いただき、山着のまままでお邪魔する。奥様が用意をしていて下さり乾杯となる。私達も辛い料理にも慣れて、美味しい、美味しいをこども連発する。満腹後はホテルへ高速道を一時間、ふっとばしてお送り頂いた。

シャワーを浴び一休みしてから、話の種にとタクシー2台でカジノへ行く。パスポートを提示して入る。私は五万ウォンをチップと交換。佐藤副会長のご教授宜しくしぼしぼ楽しむ。少しづつ細かく賭けるか、大きく一点に賭けるかは性質か。結局私一人が損をせずに三倍になりお土産代をゲット。楽しかった。

帰る日の午前中は、時々訪韓している佐藤副隊長と下越

山岳会の矢沢さんのガイドで、二手に分かれて観光と買い物をする。南大門市場は飽きないところだ。どこからあれだけの人が集まって来るのか、店も客もどっさりという感じである。「立派なコピーはいかがですか」には笑いながら買ってしまった。南大門市場とホテルの間には、韓流ドラマに出ていた噴水の広場があり、今度はこのホテルに泊まってみたいねと、冬ソナのヨン様談義も少々。

二泊三日の短い記念訪韓であったが、金会長をはじめ昌元山岳会会員の皆様より絶大なご協力を頂き、表現しがたい楽しさと感謝感激の三日間でした。一回目から今回の七回まで参加出来たことは幸運としか言いようがありません。昌元山岳会会員の皆様、県山協の皆様からカムカムサハムニダです。帰宅して金会長にかけた電話で「楽しかったよ、有難う御座いました」と先に言われてしまいました。が、両山岳会の参加者が同じ気持ちであったことを実感させられて、ジーンとくるものがありました。この友好行事が継続されていくことを願っています。関わって下さいました大勢の方々にもカムサハムニダです。

(次号にも掲載があります)

平成18年度 概 要

平成19年1月27日(土) 12:30~13:58
新潟第一ホテル 新潟市花園1-3-12
電話:025-243-1111

◆出席者

井出・平田・橋本・山田(智子)・森・阿部・遠藤・七沢・本間・渡邊・浅野・桜井・稲田・楡井・小林(重一)・水落・今井・新保・真島・北村・高橋(正英)・小林(重弘)・嶋原・後藤(正弘)・井・横山・外山・諏訪・片桐(以上 29名)

◆会長挨拶(橋本正巳)

議題1 64国体の件(遠藤副会長・森副会長)

配布した資料「ときめき新潟国体山岳競技役員配置計画(案)No.1」を参照していただきたい。山岳競技は、2009年10月4日~6日と正式に決定した。日山協よりの要請で、国体常任理事として森副会長・稲田理事が活動中で、今年開催の62国体・秋田国体には、審判員として稲田理事が引き受けられ活動中である。従来からある『縦走競技』は、62国体で終了し、63国体からは「リード競技」・「ボルダリング競技」となる。64国体の競技役員・運営役員計画(案)総員188名の人員となり、昨年12月20日付け文書を橋本会長名で協力要請して

あるが、特段の協力を願いたい。今後、4月以降の協会新役員体制となつてから、業務内容につき精査して具体的な要請作業に入りたい。競技施設については、豪雪で知られる安塚町で計画されているが、10月に実施する本大会の前、同年5月には当地で「リハール大会」を実施する計画であり、さらに前年には「北信越大会」も本県が当番になっている。競技施設については『仮説』で予定されているが、競技役員計画とともに今後、県・上越市と打ち合わせを進めて行きたい。(遠藤)

昨年9月より日山協国体常任理事として討議に参加しているが、競技内容の変更に伴い、審判員規則も変更となる。これまでの審判員資格につい

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR

ユニオン航空サービス
日本交通大空会提携旅行業第059号・IATA認可 (21) 日本旅行業協会会員
 本社 新潟県長岡市東町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 電話 (0258)33-7123
 〒940-0084 長岡市東町1丁目3番5号
 一統旅行業取締役主任 森 保樹

□新潟営業所 電話 (025)246-2266
 〒950-0916 新潟市米川3丁目2番11号
 一統旅行業取締役主任 中島 豊

では「移行講習」を経て国体審判員や国体運営員として活動していただく方向で検討されている。今年度2月24日~25日に福井県で審判員研修会があるので(案内済み)、新たに審判員資格を取得あるいは更新をしていただきたい。申込締切は2月12日までをお願いいたします。(森)

議題2 中国・青海省登山協会の「兄弟友好協定締結15周年行事」(小林委員長)

表題につき、今年7月・8月頃に記念祝賀会とトレーニング及び記念登山を履行したい考えである。トレーニング

と記念祝賀会に参加申し込みは3月末でよいが、記念登山については3週間ほどを必要とするので、早急にとりまめをやりたい。記念登山については過日、県山協会以外より参加問い合わせがあったが、どのように考えればよいか理事会でのお考えを伺いたい。(小林)

15周年行事は、協会行事でもあるので、会員で構成することが良いと思われる。(片桐)

記念登山について、会員で構成できればそれでよいと思うが、不足の場合は会員外でも良いのではと思う。(高橋)

計画に掲載されている山は、永久凍土地帯にあり登山シーズンが3月～5月上旬となる。暖かくなる7月・8月は永久凍土の表面が融解してアプローチが困難となる。(片桐)

昨年開通した「青森鉄道」に乗りする計画はどうか？(井出)

検討していきたい。(小林)

議題3 新年度協会役員改選の件 (片桐理事長)

次の理事会を3月後半に予定しているが、それまでに執行部案を作成して理事会に諮りたいと考えている。その事について今後一ヶ月くらいのうちにご意見があれば、執行

部までお知らせ願いたい。

委員会の委員を増やしたいが理事会に諮るべきか？(小林)

専門委員会の委員を増減することはその委員会で自由裁量としてよい。(片桐)

専門委員会については委員長が活動しやすいように増減自由と思っている。(橋本)

3月になると日山協の組織替えが出てくるので、それに対応できるような協会組織にするべきと思う。(森)

議題4 その他

1 64国体強化総括責任者について。

新年度についても引き続き渡邊常務理事にお願いたい。(理事会承認)

2 『新、にいがたファミリー登山』について。

このたび50山の原稿が出揃ったので、4月には出版の運びとなる見込み。

3 『新潟県体育協会創立80周年記念誌』への執筆協力について。

橋本会長と相談した結果、室賀名誉会長より執筆を願った。国体関係については、森副会長より執筆いただき、今日、校正版が届いた。

4 水落国体委員長代理より発言

国体関係事業については

年度始めの出来事より委員長代理を務めていたが、年度末をもって退任をしたい。しかし、事業についてはこれまでどおり協力していく所存である。(水落)

5 『全国高等学校総合体育大会(インターハイ)』について。

配布した資料を参照していただきたい。平成24年度に第56回大会を北信越5県共同開催により実施予定であるが、表題の大会・山岳競技について新潟県に開催依頼が来る見込みであり、新潟県が担当する方向と考

えている。これについて新潟県山岳協会より大会運営についてご協力いただきたい。(新保)

6 平成18年度冬山技術講習会について。

既報のごとく、2月17日～18日に表題の講習会を指導技術委員会で実施するので多数の会員から参加いただきたい。研修テーマは「緊急露営と遭難防止・雪崩対策」である。冬山技術の向上と事故防止に努めた

い。(阿部)

◆終了挨拶(阿部副会長)

文責：片桐

新潟楽山会 創立30周年を迎える

新潟楽山会は創立以来毎年会員の増加とともに、新潟県山岳協会加盟団体中トップの54名以上を誇る。木下力会長の統率のもと、各分科会の活躍で質の高い年間山行も延べ200回以上を数える。県山岳協会の専門委員会への行事にも積極的に参加して、会員相互の知識、技術向上への姿勢は高い評価を得ている。益々のご発展を祈りたい。

新潟楽山会 創立30周年祝賀会御礼

去る2月4日、県山岳協会加盟団体の「新潟楽山会」の創立30周年記念式典が東映ホテルを会場に行われ、橋本正巳県山協会長が公務多忙の中、来賓として出席された。

2009年には二巡目の新潟国体が開催の予定で、各山岳団体の競技への協力要請と県山協の益々発展を祈念してのご挨拶を頂いた。

また、「記念講演」は、日本山岳会越後支部長平田大六氏をお迎えし、「登山とその探検性」と題して、ユーモアたっぷりの様々なエピソードを興味深くお伺いした。続いて会場を2階に移し祝賀会が開催された。参加者250名以上が一堂に会した仲間との楽しい談笑で盛り上がり、盛会裏のうちに幕を閉じられましたことに厚くお礼申し上げます。



講演中の平田大六氏
日本山岳会越後支部長

佐藤レイ子
(新潟楽山会副会長)

賛助会員入会のお礼

次の皆様から、ご入会、ご継続を頂きましたので、ご報告させていただきます。

中村 光信

(いりやま岳友会)

*1月21日~2月20日現在の
ご入会、ご継続状況です。

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会長 橋本 正巳

理事長 片桐 一夫

総務委員長 七沢恭四郎

隊員募集

新潟県山岳協会・
中国青海省登山協会

兄弟友好協定15周年 記念行事のご案内

2007年新潟県山岳協会は、中国青海省登山協会と兄弟友好協定15周年を迎えます。そこで、両協会が益々友好を深め発展してゆくことを祈念して「記念祝賀会」「記念登山」「記念トレッキング」を行う事に致しました。つきましては、実行委員会を立ち上げたいと考えておりますが、隊員希望者だけでなく、興味

のある方にも参加して頂き、青海省の山への理解を深めて頂きたいと思えます。計画書の作成から準備まで、これから作業に入りたいと考えておりますので希望者は小林まで一報下さい。また、今回の企画について、皆様のご意見なりご希望がありましたらお聞かせいただければ幸いです。

「記念行事」

期日 2007年
7月上旬~8月上旬

(1) 記念祝賀会

登山隊及びトレッキング隊とも日程の関係上、入山前に西寧市において青海省登山協会と合同で行いたいと思えます。

(2) 記念登山

崑崙山脈の3座が候補に上がっています。
1 湖北氷峰 (5,769m)

2 五雪山 (5,805m)

3 大雪峰 (5,863m)

(3) 記念トレッキング

期間は10日位で費用は約30万円位
出来るだけ多くの方に参加してほしい為、内容については希望を取り入れて計画を立て、観光なども取り

入れたスタイルを考えています。協会会員の意見を重視の上、計画書作成の準備にかかりたいと思えます。皆様の協力と参加をお願い致します。

☆記念登山参加希望の方は早急に、記念トレッキング参加希望の方は3月末までお申し込み下さい。

○実行委員会

新潟県山岳協会

○事務局

海外登山委員長 小林重一
〒950-22054
新潟市寺尾東3-5-19

☎& 025-260-1843
携帯 090-2936-7491

お願い

◎平成18年度分担金早期納入のお願い

協会運営を円滑に行うためには加盟団体の皆様からの分担金が必要です。充実した事業運営のためにご協力をお願いいたします。

銀行口座

第四銀行長岡市役所前支店
普通預金 1179492

名義 新潟県山岳協会

郵便振替 新潟県山岳協会

口座番号

00650181204

編集こうき

▲大暖冬である。1月の中旬を過ぎる頃からフキノトウが出始めた。高気圧に覆われた25日頃には長岡の国営越後丘陵公園では、はやくも雪割草が開花したとの事だ。会う人ごとに地球温暖化を憂う話になる。

▲県内の昨年度のクマの捕獲数が最終的に502頭だったそうだ。生きのびたクマ達は空腹のまま冬眠に入ったのだろうか。山の食物が不作だった翌春はぐっと出産率が下がるそう。自然破壊の元凶である人類が飽食をむさぼり、浮かれるさまを、恨む術も知らないまま、捕獲され、クマ達は駆除されていったのだろうか。

▲『神々の指紋』などの著書で知られるグラハム・ハンコックはその著書の中で、過去に沈没したと言われるムー大陸やアトランティスなどにもふれている。人間の奢りが引き起こした自然現象だったのだ。

▲陸地も見えない大海原を漂う『ノアの箱舟』。船内には人類は乗っていない。今度こそ神々が許さなかったのだ。日本の少子化対策に取り組んでいた我が娘に陣痛がきたとの知らせが入った。

(会報編集 浅野)

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>